

平井みどり

市政活動報告

春号

2019.04.28

[発行・編集] 仙台市青葉区国分町3-7-1
E-mail: 3227midori@gmail.com

Let's together

ブログ発信中 平井みどり

街はみんなのもの

みんなで変えよう! まずやってみよう!



平成31年2月18日 一般質問 [本会議]

市内小学校

母子心中

事件について

平井みどり

いじめによるものと思われる三件の自死事案が立て続けにおき、二度とこのようなことが起こらないようにと思いましたが、しかし、今回また同じような事件が起きてしまいました。

これまでの経緯から、いじめの訴えがあった後の学校や教育委員会の判断に時間を要したことが、さらに被害を深刻なものにしていったのではないかと思えます。重大事態と判断するのに時間を要する一因は、現場の先生の物差しが一定ではなく、重大事態の意味が抽象的であり、それぞれ捉え方に差があり、対応にばらつきがあることです。よって、国の指針の通り疑わしいものは重大事態とすべきだと思えます。



市民は命を
守られていると
感じているでしょうか。

今回の事案は、なぜいまだに重大事態の報告がされないのか、その理由は、**教育長** いじめ重大事態の判断は、国の基本方針やガイドラインに示されており、学校と教育委員会が情報を共有し、判断してきました。いじめの状況や学校での様子、欠席日数などから、現時点において法に定める重大事態と判断するには至っていません。**平井みどり** 国のガイドラインには、当事者の保護者についても十分な意思疎

通と説明をすることが必要とされています。今回、ご遺族が公表されたのち、保護者を開催しており、もしこの公表がなければ開かれなかったのだろうかと懸念するものです。また、ご遺族である保護者は、現場である学校に行くことは余りにつらかったため、代理人をたてましたが、会場内に入ることは許されなかったそうです。ご遺族にしてみれば、ここでも拒否されたという気持ちになつたのではないのでしょうか。どのような理由で入場を断ったのか。どのような責任のもとで行われたのか。以前に起きた痛ましい事案の教訓が生かされていないと感じました。真摯な答弁を求めます。

教育長 学校が把握している事実関係等を説明するために、臨時の保護者会を開催いたしました。一番不安に思われているのは当該校の保護者とその家族であると考え、学校と教育委員会が相談し、出席者については保護者とその家族とし、ご遺族についても同様といたしました。

平井みどり ご遺族が今回公表した意図は、学校で一体何があったのか、真実を知りたい、そしてそれを認めてもらいたいという切実な思いであると考えます。今回の学校及び市教委の対応はどうであったと思いますか。

教育長 第三者委員会の調査や提言などを踏まえ、担当教諭の配置や相談窓口の設置などを進めてきました。学校や教育委員会の対応が、当該児童や保護者の訴えや悩みを十分に受けとめたものであったか、再発防止策が十分に生かされたかも含め、設置予定の第三者委員会にて検証する必要があると考えております。



いじめ事案の解決のためには、事実関係やその背景をできる限り把握し、学校と保護者が連携しながら対応を進めることが必要である。特に子供たちの関係修復については、発達段階等を十分に考慮し、それぞれの気持ちを丁寧に確認し、保護者と情報を共有しながら進めることが大切と認識しています。

平井みどり この親子は、みずから積極的に学校に相談しており、亡くなるまでの半年間、一番かかわっていたのは学校です。市教委や市長への報告も含めて、横断的に支援する方法はなかったのか。心中に至る前に救うことができた可能性はあったと思います。

一義的には学校のことは市教委なのかもしれませんが、今後、横断的な連携をとりながら、寛容な対応も必要だと思えますが、どのように考えていますか。
教育長 その対応について、第三者による検証が必要であると認識しています。学校、教育委員会だけでは対応できない場合もあり、市長部局や関係機関とのさらなる連携強化について検討していきたいと考えています。

平井みどり これらは氷山の一角であると思われ、なかなか方向性を見出すことができていないのが現実。市長は、このいじめ問題の本質的な課題は何であると考えますか。

市長選に際し、市民に「命を守る」と訴えておられました。市民は命を守られていると感じていないでしょうか。

市長 社会全体でいじめ防止等の取り組みを進めていかねばならないと考えております。

子供たちの自己有用感や自己肯定感を高めて、いじめに向かわない子供たちを育てていくとともに、全ての子供たち

ちが安心して学べる学校づくり、学級づくりを進めることが重要だと認識しています。これまで教育委員会が取り組む各種施策のほか、いじめ対策推進室を設置し、関係部局と教育委員会との連携強化など、体制の構築に取り組んできました。

いじめの防止等に関する条例の制定により、さまざまな施策を具体的に、体系的に展開し、いじめ防止の取り組みを一層進めることで、子供たちが安心して学び、健やかに成長する環境を実現したいと思います。

平成31年2月26日 予算等審査特別委員会

児童相談所大規模改修

2922万2000円



平井みどり 児童相談所は虐待や非行、家庭内でのしつけなどについて相談でき、解決できる機関です。最近では虐待についての事件も大変多くなり、全国での通告件数は、昨年8万人を超え、14年連続増加だそうです。本市での通報などの状況は。

相談指導課長 今年度は778件(平成31年1月末現在)、昨年1年間の相談件数の697件を大きく上回っている。

平井みどり 児童相談所の職員の力をつけていくためには、現場にとどまり、経験を積むということが必要ではないかと思えます。児相の人事については、

何らかの配慮はあるのか。

相談指導課長 児童福祉司としての十分な知識や技術の蓄積には一定の期間が必要であることから、一般の職員よりも在籍期間を数年長くしています。

平井みどり 児童相談所の大規模改修として2922万円余の計上があったが、これはどのようなものか。

保護支援課長 施設の長寿命化と機能向上を目的とし、大規模改修を実施するための設計委託費です。

平井みどり 設計段階を経て、その後は具体的にどこを改修していくのか。

保護支援課長 電気や機械設備工事を

者が運営するビジネスマッチングのシステムさまざまな媒体や機会を捉えた広報を行い、ご期待したいと思います。

のアイデアが最終的には採択され、そのチームは首都圏からの企業であったそうだが強いと感じますが、この点いかが感じて

必ず必要となってくる分野でもあり、そのことに対処するためにどのようにかか

ンチャー企業、投資家などが首都圏に集積近辺に集積していることは、経済効率性には、他にはできない価値を提供しなけ

りほか、さまざまな社会課題や生活に密着した分野にも精通したIT人材が必要になると

象としたハンズオン講座を開催しています。活躍を期待しているのでしょうか。

、延べ81名の参加。そのほとんどが市内の

分野でのITの活用やスマートフォンにおけただきたいと期待しています。

台市にとどまっていたら、活動してほしいと押しは必要だと思います。どのような支援

策を用意していますか。

【産業振興課長】 地域経済の牽引を目指すグローバルスタートアップ創出事業、社会課題解決のために事業家として成長を目指すソーシャルイノベーター育成支援事業、ITエンジニアとアイデアを持っている企業が一緒に事業企画を検討するような場も始めており、こういった取り組みを通じて、企業家並びに高度IT人材が一緒になり事業を共創していけるように、今後とも取り組んでまいります。

【平井みどり】 東北エリアの人口は、2040年には現在の3割減になると言われており、テクノロジーを使い、行政の業務もコンパクトになっていくものと思います。将来、私たちの働き方はどうなっていくのでしょうか。X-TECHの可能性、そしてX-TECHにかかわる人間の役割はどのように考えられているのでしょうか。

【産業振興課長】 現在、IT分野は急速に技術革新が進んでおり、これに対応できるIT人材を1人でも多く育成、輩出し、この仙台で活躍していただくことが、地域経済の持続的な発展のために求められています。また、これらの人材は市民が先端技術の恩恵を受け、質の高い暮らしを送ることができるSociety5.0社会の担い手であり、人手不足解消や省力化といった側面のみならず、現場の課題を解決し、人間が中心の社会を、技術の力を使って実現していくために活躍する、そういった点にも思いを馳せられる人材であることが期待されます。IT産業の集積が進んでいる仙台、この好機を逃さず、X-TECHの取り組みを推進させるとともに、IT関連団体や大学等とも連携し、高度IT人材の育成確保に今後とも努めてまいります。





初め、事務室の拡張や雨漏り防止工事などを予定。また、機能向上を目的として、スペースを有効活用し、会議室や研修室の不足を解消する計画です。

平井みどり この建物はどのような経緯で建てられ、築何年になるのか。

保護支援課長 平成4年に児童相談所、心身障害者相談センター、身体障害者更生相談所の複合施設として現在地に建設し、以来、26年が経過しています。

平井みどり 改修項目中、部屋と部屋を仕切る壁の改修項目がありました。

現在、児相には相談や面接をするための部屋が15部屋ありますが、ここでは隣の部屋の話し声や子供の興奮した声、時には保護者の怒鳴り声などが聞こえるそうです。児相で最も守らなければならぬ大事なことはプライバシーです。児相として設置した施設で、一番重要なことがなされていないのであれば、そもそもが欠陥だったのではなかったかと思えます。

26年前のこの総事業費はいくらだったのか。

保護支援課長 用地取得費を含め、総事業費は約26億円。

平井みどり 平成4年4月23日に当時の市長であった石井亨氏が式辞を述べられ、開所式が執り行われたようです。完成した建築物の引き渡し前の最終的なチェックはどのようにして行うのでしょうか。

検査課長 竣工検査は、設計どおり工事が履行されているか書類上で検査します。次に、現場の検査となり、工事成果品の寸法等出来形の測定、品質、出来栄などの確認を行います。中間検査は、基礎杭など工事完成後には手直しが困難になる箇所について行います。



平成31年2月27日 予算等審査特別委員会

SENDAI X-TECH Innovation Project

【平井みどり】 この事業は本市をフィールドとし、AIやIoTなどの最先端の技術と他の分野の産業を掛け合わせて、これまでになかった新しい事業をつくり出しているというものです。

オープンイノベーションプラットフォームのeiicon、イベント・アンド・コミュニティスペースのTECHPLAY、この2社と本市がこのプロジェクトを立ち上げた経緯は。

【産業振興課長】 先端IT人材の育成や技術と、さまざまな産業の掛け合わせによる新事業創出に豊富な経験を持っており、本市の課題解決等IT産業のさらなるレベルアップを目指す目的に合致すると判断しました。昨年7月に公募、昨年12月から本プロジェクトのスタートに至りました。

【平井みどり】 エンターテックアイデアソンの参加者は、約140名の応募があり、このうち選考で42名、10チームが本番に参加。3倍以上の参加希望者があったわけですが、その多数の応募者があった手応えはどのように感じていますか。

アイデアソンは、まずウェブからのエントリーを募ったと伺いましたが、ウェブからだけでは、このように多くの方は集まらなかったのではないかと思います。どのようにしてこんなに多くの方に周知したのでしょうか。

【産業振興課長】 応募者が140名と非常に多かったこと、選出されましたアイデアが、事業化が期待できる提案であったことなど、今回はスポーツ分野でしたが、さまざまな分野でX-TECHの取り組みに大きな可能性を感じました。

アイデアソンの開催に先立ち、民間事業ムや、県内のIT関連団体などを通じた結果広く参加者がエントリーしていた

【平井みどり】 10チームのうちの3チームのうち1チームは仙台市内の企業で、後の2チームは、どうしても首都圏にいますか。

また、行政の業務の効率化を考える上で、点から、人材育成をどうするのか、これら関わっていくつもりでしょうか。

【産業振興課長】 国内外の大手企業やベンチャー企業も参加していることもあり、高度IT人材が東京や大阪などの中で理解できるが、一方で地元の企業には、高度IT人材が不足しているのではないかと考えています。

ITの基礎的な力、先端技術の知識、能力のある人材を育て、IT産業の発展に貢献する課題に対して提案できる、X-TECHの取り組みを期待しています。

【平井みどり】 これまでITエンジニアを対象とした分析と、今後、どのような分野での取り組みを期待していますか。

【産業振興課長】 12月より合計4回開催し、IT企業からの参加。

医療や福祉、農林水産業などさまざまな最先端のサービスの開発に活躍している企業や個人を支援しています。

【平井みどり】 その先に期待するのは、仙台市に新しい企業が生まれ、起業する場合、支援、後援を期待しています。

平井みどり 隣の部屋で話している声が聞こえてくるなどは、完成した建物についてのチェック体制の不備だったと思います。原因は、設計図の問題なのか、工事関係なのか、または別な理由があったのか伺いたいが、これらの事項の一連の関係書類は、公文書として今なお保管されているはずですが、公文書の保管年数や状況は、

文書法制課長 建設工事に係る設計書等については、地下書庫などで適切に保管し、その一部は、保存管理事務の効率化や劣化防止の観点から、マイクロフィルム化も行っている。

工事の種類などにより異なるが、宮繕課や設備課が発注する事業費1億円以上の新築、増築、改築工事については、30年保存とされており、これらの工事に関連する業務委託等の資料に関しても、同年数の保存期間としています。

平井みどり 公文書は政策決定の過程を検証できる重要なものですから、後々まで大切な資料として保管しておくべきと要望します。

そして、何よりも児童相談所の機能として、問題がある壁の改善については、早急に取り組みをしていただきたい。

保護支援課長 相談室の壁の防音工事については、今回の大規模改修事業に合わせて改善することとしており、それまでの間は、隣り合った相談室を同時に使用しないなど工夫をしながら対応していきたいと考えています。

平成31年3月8日
予算等審査特別委員会

総括



**いじめ
条例について
市長にお伺い
いたします。**

平井みどり 学校、市教委、家庭、地域とあらゆるところに責務を定めています。しかし、責務者が多過ぎて、責任の所在が薄まっているのではないのでしょうか。最終的な全ての責任は一体どこでとるのですか。これまで起きたいじめについては、誰も責任をとっていない。第一の責任はどこにあるか、市長の考えは。

市長 いじめ問題に関しては、学校や教育委員会のみならず、保護者や地域の皆様を含めて、子供たちを取り巻く全ての大人がそれぞれみずからの責務を十分に認識して、主体的にいじめ対策に取り組むことが重要だと思っています。その中でも、市全体のいじめ対策を総括する市長の責任というの重いものであると認識しております。

私は、学校現場において、いじめへの対応が適切に行われるように徹底することにも、社会全体でいじめの防止に取り組むという意識を醸成して、子供たちが安心して学び、健やかに成長することができるように着実に取り組んでまいりたいと、考えております。

東京港区にある ノルウェー大使館から セミナーの招待を頂きました

男女共同参画の政策が進んでいるノルウェーの国会議員の来日に際し、日本との比較をしながら意見交換を致しました。政策的には我が国よりも先を走っていると思っていたノルウェーも、少子化の問題があり、日本と共通のものを感じました。



皆さまのお声を。
お聞かせください。



市政へのご意見・ご要望、地域や暮らしのご相談など、お気軽におよせください。お待ちしております。
留守の場合は、留守番電話にメッセージを入れてください。折り返しご連絡させていただきます。

TEL&FAX
022-357-0477

宮城野区福田町を流れる 福田新橋に足元を照らす 4つの照明がつけました

宮城野区福田町を流れる梅田川に福田新橋があります。その橋に沿ってもう一つ、歩行者・自転車用の橋がかけられています。しかし、電灯がないため夜間は暗く、特に下は川ですから危険でありました。問題解決に向けて、区役所のアイデアもあり、足元を照らす4つの照明灯がつけました。



平井みどり プロフィール

仙台市生まれ
武蔵野音楽大学短期大学ピアノ専攻卒
東北大学法学部科目等履修生
宮城教育大学附属中学校PTA会長
仙台市男女共同参画社会審議委員
宮城県男女共同参画社会審議委員



私の質疑をぜひご覧ください。

<http://www.sendai-city.stream.jfit.co.jp/>
仙台市議会の様子をインターネットで中継しています。

【現在】慶應義塾大学法学部政治学科(通信制)在学
仙台市国際音楽コンクールボランティア/市民教育委員
子育て環境調査特別委員/仙台市学校給食運営審議委員会委員